

ちょっと拝見！ MOKA の職場



引張圧縮試験機器の測定の様子



データ分析の様子



会社の同期と

仕事内容を教えてください

当社はアルミ箔を加工して、食品用の容器を密封する包材を製造しています。具体的には、乳酸菌飲料等のふた材やマヨネーズ等のインナーシール材などを手掛けています。私が担当する主な業務は、新商品のふた材の設計や、既存商品の包材の問題解決、改良に取り組むことです。また、取引先が求める品質について、ヒアリングに基づきながら、材料の変更やコーティング技術の設計開発などを行っています。

入社のきっかけは何でしたか？

大学で研究をしていた高分子学の知識を生かして、何か製品開発に関わりたと思っていました。会社説明の時に、当社製品のふた材に使用されているフィルムが、高分子膜を用いた実験とイメージが重なり、興味を持ちました。研究で得た知識を活かせると思い入社を決めました。

ダイニツク(株) 真岡工場
第七事業部 真岡加工箔技術グループ
なかむら ゆうすけ
中村 祐介さん(28歳)

仕事の達成感と自己の成長を実感できる働きやすい職場環境で毎日が充実しています。



やりがいは何ですか？

包材について改善の要望があった際、実際の商品を再現して実験を行い、原因を追究することが面白いです。また、分析したデータをもとに試作を重ね改良した製品を喜んでもらえた時は、達成感があり自己の成長を感じます。

苦労したことはありますか？

製品改良には常に課題が伴います。例えば、ヨーグルトの容器のふた材は、ふたをはがした際や発酵時の強度が求められます。また、アイスのふた材は、冷蔵庫から出した際の温度変化に耐えられる設計が必要です。特殊な装置を用いて、あらゆる条件下で、実際の使用環境を再現しながら実験を行うため、改善策を導くまでに長い時間を要することですね。

今後の目標を教えてください

自分が携わった製品が、市場へ流通し、目にすることができるよう経験を積んでいきたいです。

会社プロフィール



ダイニツク(株) 真岡工場

【所在】
松山町 16 番地
【業務開始】
1970 年



会社 HP



ダイニツクは、1919 年にブッククロスの国産化を目的として設立されました。長い歴史と新技術の融合によって独自の複合技術を開発しています。100 年以上の歴史が築いた技術力により家庭やオフィス等広い範囲に渡って市場のニーズに応える製品を提供し続けています。

掲載希望の方は秘書広報課広報広聴係へ
Tel 83-8100 kouhou@city.moka.lg.jp

あの日あそこ 第 431 回



かねだ
金田 セツ子さん
(荒町在住・83 歳)



「頑張らずに頑張る」を
モットーに日々を楽しむ

私は、昭和 16 年、荒町で 3 人きょうだいの末っ子として生まれました。姉と兄がおり、両親が 40 歳を過ぎてからの子どもでした。姉とは 16 歳、兄とは 4 歳離れていたもので、母親が 2 人いて兄と私が 2 人きょうだいのような感覚でした。姉は、洋裁が得意だったので、近所の人々の洋服を仕立てたり、私も幼少の頃から社会人まで、姉お手製の洋服を着て育ちました。特に高校では姉が仕立ててくれた真岡女子高校の制服を着て通学しました。思い出と言えば、姉手作りのブルマ*が、友人からとても好評で、姉が友人のブルマを作ってプレゼントしたこともありました。高校を卒業後は、国家公務員となり、中学の教員をしていた夫と 22 歳で結婚し、2 人の子どもに恵まれました。ある時、



▲小学 1 年生の時の集合写真
(当時真岡小にあった久保講堂前で)

上司からの勧めで、自動車の運転免許を取得しました。しかし、その直後に宇都宮へ異動が決まり、仕事よりも通勤の不安の方が大きかったので、

消費生活センターメモ No.503

5 月は消費者月間です



今年のテーマ
「明日の地球を救うため、消費者にできること
グリーン志向消費～どのグリーンにする？～」

地球温暖化による異常気象の影響で、自然災害が毎年のように発生しています。

かけがえのない地球を守り、持続可能な社会を次世代に引き継いでいくために、地球環境に配慮した商品・サービスを選択する「グリーン志向の消費行動」が求められています。



「公正かつ持続可能な社会の形成」へ積極的に
参画する社会へ

私たちの暮らす社会には、環境問題の他にも貧困や差別など、さまざまな課題があり、解決のためには一人一人の行動が重要です。地域の活性化



▲令和 6 年度真岡市音楽祭にて

事前に夫と運転の練習をして、宇都宮まで通勤しました。その後、小山への異動を経て定年を待たずに退職しました。

退職をした次の日の朝、玄関で夫や子どもたちに「いってらっしゃい」と言えたうれしさと安堵感は今でも深く脳裏に焼き付いています。その後、知人の勧めで、市内で活動している女声合唱団「舞ヶ丘合唱団」に入り、すっかり合唱の魅力に惹かれ、市のイベントや県大会、関東大会などで約 30 年間歌い、楽しい思い出がいっぱいあります。

現在は長年通っているスポーツプラザで泳いだり、地元の有志で活動している「泉体操会」でのリズム体操やストレッチ、井頭公園でのウォーキングなど、自分のペースで身体づくりを楽しんでいます。



▲「泉体操会」の仲間たちと

87 歳になる夫は、毎日ウォーキングと晩酌を楽しみ、少々耳が遠くなり会話もちづはく(笑)などありますが、夫婦共に「頑張らずに頑張る」をモットーに暮らしていきたいと思っています。

※運動時に着用するショートパンツ

や雇用を含む、人や社会・地域・環境に配慮した消費行動は「エシカル消費」と呼ばれ、持続可能なより良い社会をつくるために不可欠です。具体的には、地球環境や社会問題に配慮した商品を選択して購入することや、リサイクル・食品ロス削減に取り組むことなどが挙げられます。

普段の買い物で持続可能な未来づくりを！

エシカル消費につながる商品を探してみよう！



・エコ商品



・フェアトレード商品



消費者庁 HP
「エシカル消費
特設サイト」

・オーガニック商品・地産地消・伝統工芸品
・被災地産品・障がい者支援など



【相談窓口】消費生活センター(くらし安全課内)
Tel 0285-84-7830 (ハナシテナヤミナシ)
平日 9:00~12:00 13:00~16:00 ※相談料無料